



159 かなざわ もりもと くち
金沢森本IC口交差点 ピンポイント渋滞対策が完了します

- この度、金沢市の国道159号金沢森本IC口交差点にて、停止線の前出しによる右折レーン長の確保及び交差点の通過時間短縮を目的としたピンポイント渋滞対策が完了します。
- 同交差点では、交通ピーク時に右折レーン長を上回る交通渋滞が発生しており、右折レーンからはみ出した車両が直進車線を塞ぎ、速度低下や急ブレーキが発生していたことから、本対策を実施し、渋滞緩和と事故対策を図りました。

【完了予定日時】令和3年2月20日(土)早朝 ※天候の影響等により完了日時が変更になる場合があります。

《位置図》



《対策前の状況》

金沢東部環状道路からの流入

写真①



R01年10月21日(月)朝

《広域図》



右折レーン長を超える渋滞発生

金沢森本ICからの流入

写真②



R01年10月18日(金)朝

お問い合わせ先

●ピンポイント渋滞対策に関すること

いその のぶき
金沢河川国道事務所 事業対策官 磯野 信樹
電話：076-264-9912(調査第二課直通)

●施工内容に関すること

いいた かずひろ
金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 飯田 和宏
電話：076-264-9918(道路管理第二課直通)

URL：<https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/index.html>

対策内容

対策① 停止線の前出し

対策② 右折レーン延伸(令和元年度に先行対応)

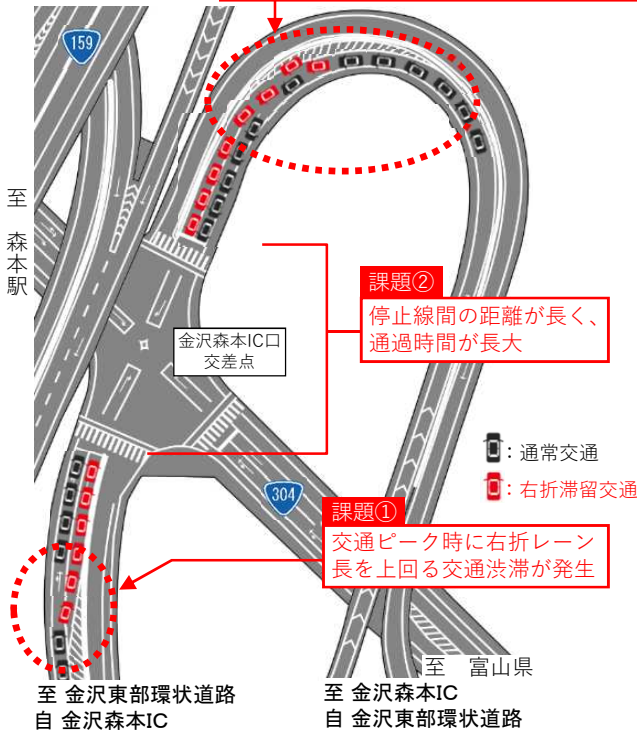
効果

右折レーン長の確保により車両のはみ出し解消

交差点のコンパクト化により通過時間短縮

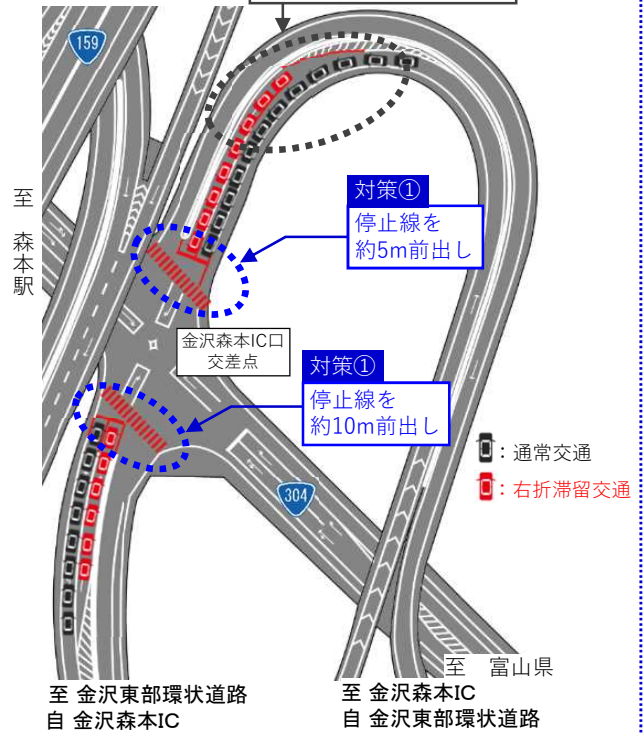
対策前

課題① 交通ピーク時に右折レーン長を上回る交通渋滞が発生



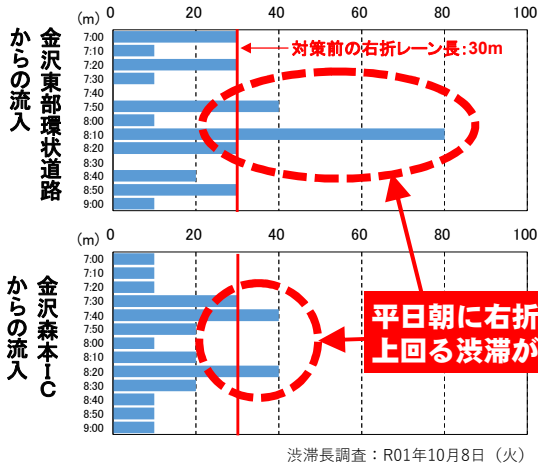
対策後

対策② 右折レーンを約10m延伸(令和元年度に先行対応)



【参考】データによる分析

【右折車両の滞留長】



【急ブレーキの発生箇所】



ピンポイント渋滞対策とは

- 少ない投資で大きな効果を求めるため、比較的小さい規模で対策可能な箇所に対する渋滞対策を実施することで、混雑緩和を図る取り組みです。
- ETC2.0データ等の車両の移動履歴等を活用して、渋滞要因の特定を高度化しつつ、効率的なピンポイント対策や既存の道路幅員を活用した付加車線の設置等を行っています。

深刻な交通集中の頻発

車両の移動履歴等を用いたデータ分析による渋滞要因の特定

賢くピンポイント対策